

報道関係者各位
2026年10月19日

本件に関するお問合せ先

ニッチセールス株式会社 広報：小山
Mobile：080-1080-0142
Email：tomomi.koyama@untrot.co.jp

ニッチセールスが地域防災に貢献、 国立競技場周辺7カ所すべての消火栓標識に協賛看板を設置

ニッチセールス株式会社（東京都港区、代表取締役：岡田 猛志）は10月2日、国立競技場（MUFGスタジアム）周辺の消火栓標識7カ所すべてに、自社の協賛看板を掲出いたしました。看板利用料が消火栓標識の維持管理費に充てられるため、協賛自体が地域の防災インフラを支える社会貢献につながります。



看板デザイン
表面



看板デザイン
裏面

■ 日本サッカーの象徴、国立競技場周辺全7カ所に協賛看板を掲出



今回協賛看板を掲出したのは、JR千駄ヶ谷駅から国立競技場を囲むエリアに設置されている消火栓標識7カ所で、一企業が新国立競技場周り全てに協賛を掲出するのは初めての事例とのことです。

また、掲出完了日を10月2日としたのは、10月5日に同競技場で日本代表の国際親善試合が開催され、多くのサッカーファンや関係者が周辺を行き交うことを見据えたものです。スポーツビジネスを手がける同社にとって、日本サッカーの聖地の足元で、街の安全を支える取り組みです。



千駄ヶ谷駅前



国立競技場北側



国立競技場西側



国立競技場南側



看板裏面

■知っていますか？ 実は民間が維持・管理している消火栓標識



「消火栓標識」とは、消防車が火災の際に速やかに水を供給できるよう、地下にある「消火栓」の位置を示す標識です。消火栓標識は全国に約12万本あり、主に民間企業によって維持管理され、その費用は「赤い円形の表示板」の下にある横長の協賛枠による看板利用料で賄われています。

消火栓標識の設置と適切な管理は地域防災に直結しますが、昨今、協賛枠の存在自体の認知度が低下し、協賛枠の利用拡大が喫緊の課題となっています。

■代表取締役 岡田 猛志 コメント



私自身、小学生から社会人までサッカーに打ち込み、2014年にスポーツビジネスで起業しました。そんな私にとって、日本サッカーの象徴ともいえる国立競技場の周辺に自社の名前を掲げることができたことは、非常に感慨深く、特別な思いがあります。

消火栓標識は、火災などの緊急時に消火栓の位置を知らせるという、街の安全を支える大切な役割を担っています。企業として広告を掲出するだけではなく、こうした社会インフラを支え、地域の安全・安心に少しでも貢献できることにこの取り組みの大きな意義を感じ、国立競技場周辺に設置されている7カ所すべての消火栓標識に協賛看板を掲出することを決めました。

10月5日には国立競技場でサッカー日本代表の試合が開催され、多くのサッカーファンや関係者が周辺を行き来されました。私自身が長年サッカーに携わってきたからこそ、「この日に間に合わせたい」という思いがあり、10月2日に掲出を完了することができました。国立競技場を訪れる方々が、ふと街中の消火栓標識に目を向け、「こんなところにも企業が協賛できるんだ」と感じていただけたら嬉しく思います。

■“ビジネスのすきま”から、地域と社会をつなぐ

「ニッチセールス」という社名には、「まさかこんなスキマにも、ビジネスの可能性がある」というメッセージも込められています。一見するとビジネスにならなさそうなものや、これまで注目されてこなかった領域にこそ、視点を変えれば企業と地域、スポーツ、社会をつなぐ新しい価値を生み出す可能性が眠っています。今回の国立競技場周辺への掲出も、その一つの形だと思っています。

ニッチセールス株式会社は今後も、営業という仕事を通じて企業の成長を支援するとともに、スポーツや地域、社会に貢献できる新しいビジネスの形をつくっていきます。

■会社概要

企業名：ニッチセールス株式会社

代表者：代表取締役 岡田 猛志

所在地：〒107-0061 東京都港区北青山1-3-3 三橋ビル3F

事業内容：ニッチトップ支援事業

URL：<https://niche-sales.co.jp/>